

北九州市民の会ニュース

豪雨災害を見舞う、被災者に寄り添う 佐賀県武雄市へ仁比・田村・真島さん

9月1日(日)、仁比・真島さんと共に武雄市の豪雨災害を見舞う。田崎元町議さんの案内で、被災者をお見舞いし、要望の聞き取りをしました。

武雄市北方高野の新興住宅地。みんな床上浸水被害です。マイホームに住んでまだ1ヶ月、こちらのお宅は家を建てて3ヵ月目、長い方でも2年。「川の排水対策はどうだったのか」「そもそも浸水常襲地帯でなぜ宅地造成がなされたのか・・・」そんな声も上がっています。検証が必要です。

その後、武雄市北方の長寿園に避難されている方を見舞いました。「泥水につかり、家財道具はめちゃめちゃ。もう住める状態ではないです」。江原一雄市議と住む家について相談中とのこと。国道沿いの被災地。車は天板近くまで浸かり、家は人の背丈まで水が押し寄せました。さぞかし恐かったことでしょう。亡くなられた方の家の前でみんなで黙祷。逃げ遅れがなぜ生じたのか、「防災無線は雨音で聞こえなかった」と元町議の田崎さん。検証が必要です。

(田村貴昭さんFBより)



高田健（総がかり行動共同代表）講演会 開催

9月5日(木)、平和ネットが高田健さんをお呼びし(3度目!)「参院選が切りひらいた新しい情勢と改憲阻止運動の課題」と題して講演会を開催した。①参院選の画期的な勝利、②安倍晋三がめざした改憲は何か、③改憲発議阻止戦略とこれへの異論との闘い、④市民と野党の共同の形成の努力、⑤改憲発議阻止のための憲法審査会での闘い、⑥参



院選後の安倍改憲動向、⑦安倍改憲を阻止するという7つの論点にそって、わかりやすく、熱く語られた。北九州各地の取り組みについてもそれぞれ報告し合い、質疑応答した。

福岡自治労連が結成30年記念レセプション

9月7日(土)、全労連、自治労連が結成されて30年、自治労連九州ブロック、福岡自治労連から結成30周年記念レセプションの案内が届き参加しました。30周年記念講演は、自治体問題研究所理事長の岡田知弘さんが、「自治体戦略2040構想と地方自治一対抗軸と展望」と題してわかりやすく整理されたお話でした。

記念レセプションには、九州各県の自治労連仲間、福岡県労連や弁護士、日本共産党の田村衆議院議員など、これまで共にたたかってきた仲間が沢山参加し、和やかに懇談しました。沖縄の仲間をはじめ、各県の仲間が壇上に上がりそれぞれの取り組みを語り共にたたかう決意を固め合うことが出来ました。最後に、青年が壇上に上がり団結がんばろうを三唱して終わりました。(堀田和夫さんFBより)



第8回北九州人権問題公開講座

9月8日(日)、北九州人権問題公開講座実行委員会主催の上記公開講座が北九州市立大学で開催された。タブーも忖度もなく人権問題を本音で語るシンポジウム。4人のパネラーが下記テーマを15分話し、会場との活発な意見交流が行われた。

○仁比聡平さん 「部落差別解消法」の重大な危険

○高瀬菜穂子さん 2月福岡県議会本会議討

平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
Tel.093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail:koe@siminnokai.com

論と知事答弁

○川口學さん 地域から見た部落問題の解決過程

○植山光朗 人権を本音で語る 社会を部落解放の運動論上の意見の違いも認め合いながら、元気で笑いが飛び交うシンポジウムとなった。第41回福岡県人権問題研究集会は、11月23日(土)、10:30~16:00、サンレイクかずやで開催される。



9条の会・北九州憲法ネットが総会と記念講演

9月14日(土)、憲法ネットが第14回総会と記念講演を開きました。総会では、経過報告、今後1年間の活動方針、新年度の役員選出、会計(決算)が一括報告され承認された。記念講演は、清水雅彦日本体育大学教授(憲法学・9条の会世話人)が講師。演題は「憲法をめぐる新たな情勢と課題~安倍政権があきらめていない9条改憲と運動の課題~」。詳細なレジュメに基づく話は、深く考えさせられ、学ぶことが多かった。大変良かったという感想が多くの人から寄せられました。



「あの日のオルガン」上映会

9月15日(日)、「あの日のオルガン」上映実行委員会が、ウエルとぼたで、同映画を3回上映しました。この映画は、戦時中の実話です。1944年、戦火迫る東京、蒲田の保育園が日本で初めて保育園ごと疎開し、東京大空襲や過酷な戦火の下で、自らのいのちをかけて、子どもたちを守り抜いた姿を映画にしました。戦争の悲惨さだけでなく、たくましく戦い生き抜く姿に、人間のすばらしさを共鳴させる映画でした。来場者181名。



地区労連が第31回定期大会

9月15日(日)、上記大会が開催された。大会スローガンは、ストップ安倍改憲! 憲法を守りいかそう! 8時間働いて普通に暮らせる

社会の実現を! すべての労働者を視野に組織と要求を前進させ、未来を切り開こう!

北九州でたたかわれているすべての争議解決を!

大会参加代議員の討議・提案により、活動経過報告、2019年度運動方針、秋季・年末闘争方針など、すべての議案が採択された。



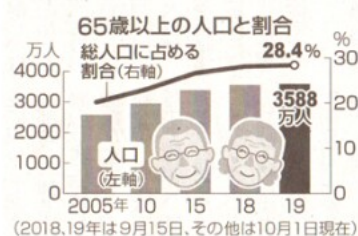
「敬老の日」に思う

きょうは、「敬老の日」です。長年、人生を重ねてきた方々に感謝し、お祝いを申し上げます。それぞれの持ち味や経験、特技を生かし、個性豊かに暮らす高齢者の姿は、次の世代にとって、大きな励みです。日本は平均寿命が世界トップクラスの長寿の国です。誰もが希望を持って長生きできる社会を実現していくことが、いっそう大切になっています。

敬老の日に合わせ、総務省は65歳以上の人口推計を発表しました。65歳以上は3588万人、28.4%を占めます。“公的年金だけでは老後の資金が2000万円足りない”と記述した金融庁審議会の6月発表の報告書は、多くの国民に衝撃を与えました。「人生100年時代」などと盛んに宣伝しながら、国民の老後の暮らしは、投資や貯金の「自己責任」でなんとかしろという安倍晋三政権の姿勢はあまりに無責任です。年金の給付が減り続ける仕組みは、長寿社会の土台を揺るがすものです。「減らない年金」への改革、低年金者の年金の底上げを実現するとともに、最低保障年金制度を確立し「頼れる年金」にしていくことが不可欠です。(赤旗9.16参照)

65歳超、最多3588万人

総人口の28.4%、割合も更新



さよなら原発金曜行動

18:00~19:00

小倉駅デッキ

9月20日、9月27日

10月4日、10月11日